夢のつばさプロジェクト

2018 冬キャンプ 学生報告書

【日程】2018年12月22日(土)~25日(火)

【開催地】(株)ブリヂストン保養所 奥多摩園 (青梅市)

【参加者】子ども:33名(小学生14名、中学生10名、高校生5名、専門学校生4名)

学生スタッフ:43名(途中入れ替わりも含む)

OBOG スタッフ:17名(同上)

社会人スタッフ/協力者:18名(同上)

◆2018 冬キャンプについて

たくさんの皆様のお力添えのおかげで、夢のつばさが 8 年間活動を続けてまいることができましたこと、心より感謝いたしております。

今回は子どもたちの参加が今までで一番多く、とても賑やかなキャンプとなりました。

2日間を通して行ったメイン企画の「ピタゴラスイッチ」では、全員で協力して1つの装置を 作ることで、強い一体感を感じることができました。

受験生を対象に勉強を教えるプログラムを「ゆめスタ@冬キャンプ」では、受験を間近に控えた子どもたちもキャンプの楽しいひと時の中で、真剣に勉強をすることができました。

そして、成人となった二人の子どもたちに対して全員でお祝いをする「20歳プロジェクト」を開催いたしました。夢のつばさでの経験を糧に、自分の道をしっかりと歩んでいる二人の様子を見て、深く感動するとともに、改めてこの活動を続けてこられて良かったと感じました。

◆スケジュール・概要

	1日目(12月22日)	2日目(12月23日)	3日目(12月24日)	4日目(12月25日)
午前	送迎	ピタゴラスイッチ	水遊び	閉会式
午後	開会式	ピタゴラスイッチ	ピタゴラスイッチ	送迎
	アイスブレイク		20 歳プロジェクト	
夜		音楽会、クリスマス会	中高生企画	
		中高生企画		

<1日目>

◆開会式・アイスブレイク

開会式では、キャンプのルールの確認や初 参加の子どもたちの自己紹介を行いました。

そして、緊張をほぐすために「ゆめつばすけっと」と「〇×ゲーム」という二つのゲームを行いました。「ゆめつばすけっと」は、「フルーツバスケット」に独自のルールを加えたゲームで、ペアを作るたびにお題に沿っ



て自己紹介をすることで親交を深めました。「○×ゲーム」は、学生に関するお題に対して○か ×かを答えるというゲームで、学生の意外な一面を知ることができ、とても盛り上がりました。

<2日目>

◆中高生企画

今回のキャンプでは、1日目と2日目の夜に新しい試みとして中高生を対象とした企画を行いました。幅広い年代の子がいるキャンプの中で、中高生がお姉さんやお兄さんの姿ではなく等身大の自分で、今楽しいことや興味のあること、悩んでいることなどを話す時間をとりたいと考え、企画しました。



1日目には学生の中高生時代の写真を見ながら、学生の中高生時代の部活や行事の話、また子どもの今の学校生活について話しました。2日目は、「学校生活、仕事・進路、海外」の3つのテーマから子どもたちがそれぞれ興味のあるテーマに分かれてゆっくり楽しく話しました。夜の時間という特別感や同じ年代の子ということもあり、話

に花が咲きました。

2日間を通して、同じ年代の子たちと学校のことや今自分が興味あること、これからの進路のことなどをゆっくり話す時間をとることができました。また、社会人 OBOG から仕事の話を聞くこともでき、子どもにとっても参加した学生にとっても貴重な時間になりました。子どもたちから、「また学生と話す企画がやりたい」という声を聞くこともできました。様々なことに悩み、考える中高生の子どもたちに対して、私たちができることをこれからも考えていきたいと強く感じました。

◆音楽会・クリスマス会

夕食後には音楽会を行いました。社会人スタッフのお一人の白井優次様のご紹介で、今回はマリンバ奏者の岩崎りえ様、トロンボーン奏者の若田典子様、ジャズピアニストの森内麗香様がお越しくださり、素敵なコンサートを開いてくださいました。

「A列車で行こう」などの名曲から back number の「クリスマスソング」といった 最近の楽曲、さらにソロ曲などと盛りだく さんの素晴らしい演奏に全員が聞き入っていました。演奏の合間にはそれぞれの楽器について紹介してくださり、ジャズピアノの即興演奏には一際大きな歓声が上がっていました。音楽会を毎回楽しみにして



いる子ども達も多く、子ども有志による司会も和やかな雰囲気を作り出していました。

音楽会の最後には、全員で輪になって「翼をください」を合唱しました。毎回恒例となっているこの合唱ですが、子どもも学生も社会人も一緒になって肩を組んで歌う様子に、改めて夢のつばさの一体感が感じられました。

その後のクリスマス会では、サンタクロースが登場して子どもたち一人一人にクリスマスプレゼントを渡しました。子どもたちは可愛らしいプレゼントを嬉しそうに受け取り、全員で集合写真を撮影して1日を締めくくりました。

< 3 日目>

◆ピタゴラスイッチ

キャンプ2日目から3日目にかけて、今回のメイン企画である「ピタゴラスイッチ」を行いました。6~7人のチームごとに装置を作り、最後はそれらをすべて合体して大きなピタゴラスイッチ作りにみんなで挑戦しました。与えられたものは、「クリスマス」というテーマと、文房具



や割り箸、お菓子の缶などのさまざまな材料の み。装置の見本はありません。その中で子ども たちはアイデアを出し合い、個性あふれるピタ ゴラスイッチを2日間で作り上げました。

昨年の冬キャンプでお世話になった東京電機 大学の岩城和哉先生に今年もご協力いただき、 「アフォーダンス」の考え方についての講義を行っていただきました。ピタゴラスイッチを作るときには、ふだんの割り箸がビー玉が通る道に見えてくる。モノの使い方はモノが教えてくれるんだよ、という先生のお話に、子どもたちは真剣に聞き入っていました。「ホームセンターっていろんなものがあるんだね~」という声も、子どもたちから聞こえてきました。

ピタゴラスイッチを 0 から作ることは、 学生でもかんたんなことではありません。 子どもも学生もいっしょになって、「ここは どうしたらうまくいくかな?」「もっとこう すれば失敗しなくなるんじゃない?」と相 談し合いながら、一生懸命頭を動かし、手を 動かしていました。なかには、3日目午前中 の自由時間に自分のチームの装置を作りに



来た子もいました。最終的には一度も止まらずに成功とまではいかなかったものの、自分たちが 作った装置が上手くいってハイタッチをして喜び合うチームがいたり、最後は自然とみんなが 拍手してそれぞれのチームの頑張りを認め合う、そんな温かい雰囲気に包まれました。

自由時間に卓球をしたり走り回って元気に遊ぶ様子とはまた違った、真剣に試行錯誤しなが ら手を動かす子どもたちの様子を見ることができました。これからも夢のつばさのキャンプで は、子どもたちが一生懸命になれる場を作っていきたいと思います。

◆20 歳 PJ

ピタゴラスイッチの企画が終了した後、今年 20 歳を迎えた 2 人のお祝いをサプライズで行いました。2 人が別の部屋で夢のつばさプロジェクトを支援してくださっている方々にお礼の手紙を書いている間に、子どもたちと学生でセミナールームを飾りつけしたり、ホワイトボードにイ

ラストを描いたりして、お祝いの会 の準備をしました。2 人に向けて手 紙を書く子もいました。

準備が終わると、いよいよ本番です。有志の子が場を盛り上げる中、2人を拍手で迎えました。始めに、2人の今までの写真を集めて作ったスライドショーを上映しました。2人は一番初めのキャンプから参加



してくれているため、7年分のたくさんの思い出がつまったものとなりました。続いて、7年分の写真をコラージュしたアルバムを 2 人に渡しました。アルバムには、今までのキャンプの企画を一覧にした年表や、子どもや学生からのメッセージも載せられていました。アルバムを渡すとともに、特に長く関わってきた OBOG から 2 人へ、熱い思いが伝えられました。最後に、2人からこれからの抱負を聞きました。夢を叶えて家族を支えたい、これからも居場所として夢のつばさに参加し続けたいという思いを聞き、その場は温かい拍手に包まれました。

<4日目>

◆閉会式

閉会式では、部屋ごとに分かれてキャンプの 振り返りをしたり、恒例のスライドショーの鑑 賞をしました。また、いつもお世話になってい るスタッフの方々、奥多摩園の方々に子どもた ち自身が考えた言葉で感謝の気持ちを伝えま した。



<ゆめのつばさスタディ>

直近2回のキャンプに引き続き、今回のキャンプでも「ゆめのつばさスタディ@冬キャンプ」 を実施しました。「ゆめのつばさスタディ@冬キャンプ」とは、受験を控えた中学3年生・小学6年生の希望者を対象に、自由時間中に学生が個別に勉強のサポートをするプログラムです。

今回は中学3年生5名と小学6年生1名が参加しました。長距離の移動などで少し疲れた様子が見られた子もいましたが、自分が決めた勉強時間には気持ちを切り替えて勉強に励んでいました。子どもたちが一生懸命勉強に取り組む姿に、サポートを担当した学生も刺激を受けていました。キャンプ中、勉強時間を一緒に過ごしたことが子どもたちと担当学生の距離を縮めるきっかけにもなり、その後の時間でも楽しげに話す様子が見られました。

今回のプログラムに参加した子どもたちをはじめ、この冬受験に挑む子どもたちが当日ベストを尽くすことができるよう、メンバー一同祈っています。受験までの残りの期間も精一杯サポートして参ります。

夢のつばさプロジェクト 学生代表 お茶の水女子大学 3 年 山村 椎奈